

＝ ニュースレター (2017年1月号) ＝

エンジニアリング、マニュファクチャリング、メンテナンス



新年明けましておめでとうございます。

旧年中に賜りましたご厚誼、ご高配に厚く御礼を申し上げます。

お陰様をもちまして昨年弊社は、お客様の活発な投資に支えられ、東レエンジニアリング関係会社とも連携して、プラント・設備工事、機器、保全の各分野で精力的に事業の促進を図ることができました。

これからも、安全とCSRを経営の最優先課題として掲げる東レ/東レエンジニアリンググループの一員であることを自覚し、社員全員が一丸となり、健全で明るく高い倫理観を持った企業風土の確立を念頭に、お客様にご満足いただける技術と品質、サービスの充実に努めて参ります。

本年もなお一層のお引き立て、ご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

代表取締役社長 尾藤 武

“トピックス”

2016年11月20日

若手社員がびわ湖放送のテレビ取材に対応



11月号でご紹介したとおり、当社は10月19日～21日に「びわ湖環境ビジネスメッセ2016」に出展しましたが、その際、会場で弊社の営業担当など若手社員4人がびわ湖放送からのインタビュー形式の取材に応じました。慣れないテレビ取材のインタビューに緊張・冷や汗のひと時でしたが、それぞれ無事に弊社の事業紹介をこなし、その時の模様が11月20日、びわ湖放送「クローズアップしが」で放映されました。なかなかの出来映えだった(!?)との社内評価に、本人たちも一様に安堵しています。

今後とも若手社員が一丸となって、会社をけん引していきたいと考えております。

(プラント事業部営業部 TEL 077-534-1032)

2016年11月21日

東レエンジニアリング(株) 第58回TPM推進委員会での発表



滋賀事業所保全1部ペフ保全グループは、11月21日の標記の委員会で「重大設備故障からの保全管理の発展」と題した報告を行いました。

報告の内容は、東レ(株)滋賀事業場ペフ生産設備において、設備メーカーによる定期点検後にもかかわらず、トラブルが多発したことを踏まえ、東レ関係者と協同して根本原因にまで深掘りして原因究明を行い、当該設備メーカーも巻き込んだ再発予防対策を進めた経緯についてです。

弊部は保全力のレベルを高めつつ、生産設備を設計された通りに適正に稼働させるための技術を提供する「ユーザーエンジニアリングの担い手」として、設備トラブルゼロを目指し東レグループの生産を支えて参ります。

※“トーレペフ®”：電子線架橋による半硬質・独立気泡のシート状発泡体で、軽量・断熱性等の特徴を生かして自動車内装部品、建築用断熱材などの分野で使用されています。

(滋賀事業所 TEL 077-533-7626)

2016年11月12日～13日 **東レグループサッカー大会に出場**



2016年11月12日(土)～13日(日)北条スポーツセンター陸上競技場/球技場(愛媛県)にて毎年恒例の東レグループサッカー大会が開催されました。

弊社のサッカー同好会『KOOZA(クーザ)』のメンバーを中心に、各拠点の職場から参加者を募り参戦しました。

結果は、にわか作りのチームで、レベルの差が歴然、予選ラウンド3戦3敗という惨敗に終わりましたが、東レグループの人たちと絆を深める良い大会になりました。来年の大会ではより上位を目指し、今後とも一層練習に励んで参ります。